

1. 件 名：新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（島根 2 号機（393））
2. 日 時：令和 3 年 3 月 1 6 日 1 6 時 0 0 分～1 8 時 3 0 分
3. 場 所：原子力規制庁 9 階 D 会議室（TV 会議システムを利用）
4. 出席者（・・・TV 会議システムによる出席）

原子力規制庁：

新基準適合性審査チーム

植木主任安全審査官、千明主任安全審査官、服部主任安全審査官、
日南川技術参与

事業者：

中国電力株式会社 電源事業本部 担当部長（電源土木）他 1 2 名

5. 要旨

- （1）中国電力株式会社から、島根原子力発電所 2 号炉の設置許可基準規則等への適合性のうち、「4 条 地震による損傷の防止」及び「5 条 津波による損傷の防止」について、3 月 1 5 日提出資料に基づき説明があった。

- （2）原子力規制庁から、主に以下の点について説明等を求めた。

【地震による損傷の防止について（第 4 条）】

基礎地盤の傾斜が基本設計段階の目安値を上回る施設について、設置許可段階で設定した管理目標値を上回る改良地盤の物性値を確保し、施設の安全機能を損なわないように設計する方針であることを説明すること。

【津波による損傷の防止について（第 5 条）】

島根 2 号炉における「設計基準対象施設の津波防護対象施設（非常用取水設備を除く。）を内包する建物及び区画」は解釈別記 3 の「S クラスに属する設備を内包する建屋及び区画」に該当するとしていることについて、津波防護対象施設にクラス 2 の設備が含まれていることを踏まえ、妥当性を説明すること。

- （3）中国電力株式会社から、本日説明等を求められた内容について了解した旨の回答があった。

6 . その他

関係資料：なし